

# ！警戒レベルを用いた避難情報

**警戒レベルについて** 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報 (警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報 (河川)	土砂災害の情報 (雨)
5	災害発生又は切迫	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b>	<b>緊急安全確保</b>	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から 全員避難</b>	<b>避難指示</b>	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から 高齢者等は避難</b>	<b>高齢者等避難</b>	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・注意報	2相当 氾濫注意情報	---
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	---

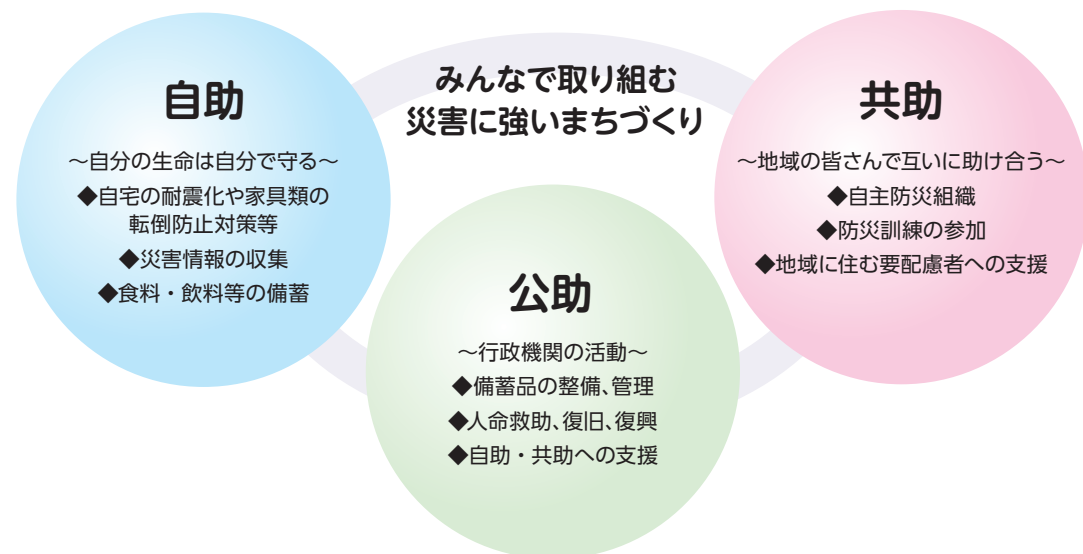
※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

**警戒レベル5**はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。

**警戒レベル3**高齢者等避難や**警戒レベル4**避難指示で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

(ページ内の図表は内閣府・気象庁のホームページより抜粋、編集)

## 地域の防災力を高める 自助・共助・公助

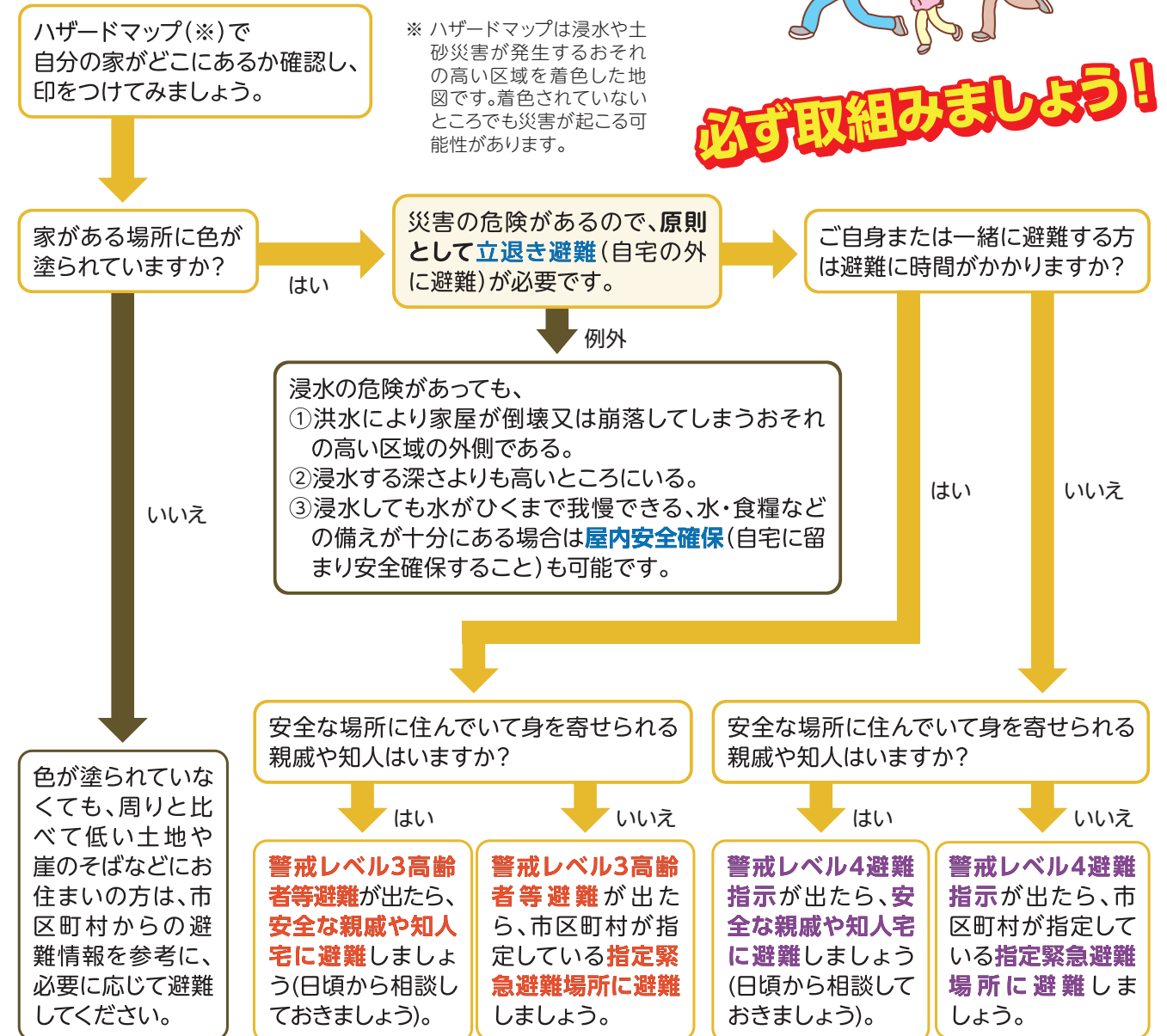


# 避難行動判定フロー



**必ず取組みましょう!**

## 普段から確認 ●あなたがとるべき避難行動は?



(ページ内の図表は内閣府ホームページより抜粋、編集)

## 家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- 家の中で一番安全な場所
- 家族一人ひとりの役割分担
  - ・安否確認、非常持出品・備蓄品のチェック、避難経路の確保、隣近所への連絡など
- 避難場所、避難経路
  - ・自宅と避難場所を確認し、マップに描き入れましょう
  - ・避難経路を実際に歩いて確認しましょう
- 自宅付近の災害リスク、危険箇所の確認
- 災害が起こった時の身の守り方
- 家族が離ればなれだったときの連絡手段、集合場所
- 要配慮者(乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦など)のサポートと避難方法

備蓄品 少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備



災害の備え

災害の備え